

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	御勅使南公園	所管課	都市計画課
所在地	南アルプス市六科1588-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年
管理方式	指定管理者((株)富士グリーンテック、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②スポーツの場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	ラグビー場2面、遊具広場、中央広場、徒歩池、疎林広場、トリムコース、緑地、園路広場、駐車場、駐輪場、管理事務所		
主な業務内容	① 施設、備品の管理運営業務 ② 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ③ 本県が実施する大会等への協力		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	曾根丘陵公園、富士川クラフトパーク
-------------------	-------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	163,853	161,697	167,030	
	有料施設利用者数 (無料利用者を含む)	17,873	15,727	17,198	
	利用者数合計	163,853	161,697	167,030	
	目標値	173,000	164,000	162,000	167,000
	目標値設定の考え方	昨年度の実績値を達成の目標とする	昨年度の実績値を達成の目標とする	昨年度の実績値を達成の目標とする	昨年度の実績値を達成の目標とする
	対20年度比	100.0%	98.7%	101.9%	101.9%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	601,885	817,000	681,080	817,000
	指定管理者委託料	77,223,000	78,658,000	78,658,000	77,423,000
	その他	1,310,325	1,650,000	1,311,365	1,700,000
	収入合計(A)	79,135,210	81,125,000	80,650,445	79,940,000
支出	人件費	17,258,670	10,500,000	21,921,050	10,500,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	60,835,093	70,625,000	57,543,300	69,440,000
	(うち外部委託費)(B)	14,164,394	11,011,000	8,016,159	11,161,000
	支出合計(C)	78,093,763	81,125,000	79,464,350	79,940,000
収支差額(A-C)		1,041,447	0	1,186,095	0
外部委託比率(B÷C)		18.1%	13.6%	10.1%	14.0%
利用者一人当りの経費		478	486	471	464

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(HO～O年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(HO～):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月～22年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:113人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①良好な緑地環境の提供	81.3%	18.7%	0.0%	0.0%
②遊び、憩いの場の提供	62.6%	32.0%	2.1%	3.3%
③情報案内	58.0%	37.9%	2.8%	1.3%
④安全度	62.0%	37.0%	0.0%	1.0%
⑤接客等	80.0%	19.0%	0.0%	1.0%
⑥自主事業	67.7%	22.7%	4.5%	5.1%
各項目の平均	68.6%	27.9%	1.6%	2.0%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	・イベントの継続していただきたい。・地域の祭りをやってほしい。 ・自然とふれあう事業をもっとやってほしい。・犬の散歩が自由にできるように。 ・園内を短時間で回遊できる器具を備えてほしい。
利用者の意見への対応	スポーツ振興や環境保全事業は、継続かつ更新して行っていますが、地域のイベント開催となると、利用平等や秩序の点から、慎重に検討していきます。犬の散歩については、ドッグランを設置して対応します。園内回遊器具については、延長のある公園だけに理解できるのですが、手段としては自転車利用しかなく、一般歩行者との分別を考えなくてはなりません。公園機能を考慮したなかで、現状対応は難しそうです。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	公園施設については、日常点検等で経年劣化による不具合がないか調査し、必要に応じて初期対応を行っています。植栽管理は、順応型管理を心掛け、整然な環境を保持しています。これらの事が、幅広い評価と利用者にも物心両面で満足度を提供できていると思います。	適切に日常点検・定期点検等を行い、不具合箇所を早期に発見し、速やかに施設の修繕を実施し、安全の確保を行った。
運営業務	公園施設が大事な社会資本であり、管理者と利用者が互いにステークホルダーであるという認識をもって、年中無休の公園管理や地域振興事業等において安心・安全を心掛けました。そして、これらの運営内容が評価され、本公園が平成22年度日本公園緑地協会会長賞を受賞したことは、誇りと更なる自覚を新たにしました。	植栽管理等を徹底し利用者に快適な環境を提供すると共に、イベントを企画・実施するなど利用促進を積極的に図った。
自主事業	運営理念であるスポーツ振興と環境活動を通して絆といのちの大切さを育む事業を継続しています。そして利用者アンケートで得られた貴重な意見を参考にフィードバックさせており、それが利用者にも高い評価を頂いています。	公園の特色を生かした、イベントを主催し利用者から、高評価を得ている。自主事業で整備したクロスカントリーコースでの大会も開催されスポーツ利用の促進に努めている。
利用状況	遊具施設の大規模改修も終わり、利用禁止で停滞していた公園利用者数が、前年比で3%程回復しました。今後は、滞在性確保のためのサービス提供策を講じながら、更なる利用者数増を図っていきたいと思います。	遊具施設の大規模改修の完成に伴い、公園利用者が増加した。有料施設利用者については、ホームページ等を利用した広報活動の結果、利用者増加につながった。
収支状況	施設利用料、その他収入(自主事業)共、前年比微増しております。有料公園施設は、休日以外の一般利用を増やす試みとして、合宿利用等を促しています。支出については、サービス提供の人件費が増えています。直営管理体制による目の行き届いた管理運営により、施設環境は向上してきたと思っています。	直営管理を強化して経費の節減に取り組んでいた。
利用者満足度	事業や広報活動、また口コミで、県外の利用者からの問い合わせや実利用が増えてきていることは、今後の運営計画に何らかの対策を講じて伸ばしていきたいところです。公園が用途によってゾーニング付けされているなかで、特に植栽管理面で、評価を頂いています。今後は、老朽化した施設への効率的な修繕要望や更なるもてなしの環境づくりを心掛けたいと思います。	公園の特色を活かした取り組みを実施し、利用者に快適な環境を提供できたことが、「平成22年度都市公園コンクール」において「日本公園緑地協会会長賞」を受賞できたことに反映されている。
運営目標の達成状況	運営目標の指標 入園者数 目標値 162,000人 → 実績値 167,030人 有料施設利用者数 目標値 18,000人 → 実績値 17,198人 入園者数、有料施設利用者数ともに目標をおおむね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	植栽管理等を徹底し利用者に快適な環境を提供すると共に、イベントを企画・実施するなど利用促進を積極的に図った。また、広報活動を積極的に行い、公園利用者や有料施設利用者の増加につながった。今後は、老朽化した施設への効率的な修繕等を実施・提案し、施設等の維持管理を強化すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成18年度より当該公園の設置主旨を理解し、スポーツ振興事業と環境保全活動等を継続していることを確認した。老朽化施設の自主修繕や計画修繕要望もその都度行われており、特に大規模修繕については、遊戯広場の大型遊具の改修により、その後の家族単位の公園利用者数の増加につながってきている。	

7. 管理体制(組織図)

